

一般社団法人WATALIS 平成31年度(2019年度)事業報告書

事業名	コミュニティカフェ運営事業	実施期間	平成31年(2019年)4月～ 令和2年(2020年)3月
-----	---------------	------	----------------------------------

事業目標

<目的>

・住民同士の繋がりが希薄化した被災地域において、地域コミュニティを再生し「安全・安心な子育て環境」を創るとともに、「子育て中の母親や高齢者の孤立化防止」のために社会と繋がる機会を生み出す。

事業内容

■地域復興手しごとプロジェクト事業

東日本大震災後に地域に生まれた被災地の課題と解決に向けた取り組み

①高齢化、世代間交流の機会の減少に伴う知恵や技術を伝承する機会の消失
→ものづくりを通して地域内の高齢者と交流、文化と技術の伝承の場を創出している。

②深刻な人口減少と地域コミュニティの崩壊

→ものづくりの仕事を通して女性の働く場という新たなコミュニティを創出している。

③雇用と就労のミスマッチにより女性の地域内での就労が困難

→子育てや介護による時間的制約がある女性に向け、自宅で自由な時間にもものづくりの作業ができる働き方を提示。技術研修や情報交換を行い、孤立した働き方にならないよう配慮している。

■手しごとワークショップ事業

被災地住民などを対象にした交流の場を創出するための事業。手しごとワークショップや茶話会を定期的を実施し、開かれた交流の場を開設している。

■サロン&コミュニティカフェ事業

WATALISの活動拠点は亙理町にあり、手しごとワークショップや各種研修会など地域交流の場として活用されている。交流の環をさらに広げる場として 2016年2月アトリエ & 喫茶「中町カフェー」をOPENし、運営を続けている。

予算

総事業費
自己資金

1,110,209 円

1,110,209 円(カフェ売上、借入等)

人員体制

・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ 実行委員会の開催に関すること
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること
・理事	高橋 由紀	広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること

一般社団法人WATALIS 平成31年(2019年)度事業報告書

事業名	2019年度被災地域及び被災者受入地域における支援拠点、ネットワークづくり活動	実施期間	平成31年(2019年)4月～ 令和2年(2020年)3月
-----	---	------	----------------------------------

事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学びと交流の場としてのコミュニティサロンやイベントへの参加により、地域住民間のネットワークを構築・強化する。 ・被災地域の中で世代を越えて人との繋がりや心の触れ合いを感じながら、互いに見守りあう有機的な人的ネットワークを構築する。 ・地域への愛着を醸成し、郷土への関心や愛着を高める。 ・高齢者や子育て中の母親という社会的弱者が、被災地の中で安心安全に暮らすための知識や情報を得る。 ・これを通して長期化する被災地の復興に地域の仲間とともに取り組んでいくという意識を醸成する。
------	---

事業内容	<p>1. コミュニティサロンの開設、運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・告知ポスター・チラシの作成・送付 4月中旬～ 告知ポスター、チラシ制作依頼(榎本デザイン事務所) 5月1日 告知ポスター、チラシ納品 5月上旬～ 告知ポスター貼付、告知チラシの送付(60件) ・SNSでの告知・発信 Facebook・Twitterでイベントの告知(1ヶ月前イベント作成/10日前事前告知/前日告知)・イベント開催後の報告 HPでJKA補助事業の開催案内、ワークショップ開催レポートを随時更新 その際、競輪の補助金による事業であることを明記し、周知に努めた。 ・コミュニティサロンの開設・運営(平日4時間程度 月20日間) コミュニティサロン利用者数 延べ1,026名 ・<u>心を癒すハンドメイドワークショップ</u> 講師: Positive-Sky 八柳真紀氏 丹野正幸氏 <p>令和元年 5月21日 フラワーアレンジメント「初夏」実施 参加者数: 午前の部 9名 午後の部 9名 計18名 内容: 「初夏」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <p>令和元年 7月16日 フラワーアレンジメント「和」実施 参加者数: 午前の部 10名 午後の部 11名 計21名 内容: 「和」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <p>令和元年 9月17日 フラワーアレンジメント「秋」実施 参加者数: 午前の部 10名 午後の部 8名 計18名 内容: 「秋」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <p>令和元年11月26日 フラワーアレンジメント「お正月」実施 参加者数: 午前の部 9名 午後の部 9名 計18名 内容: 「お正月」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <p>令和2年 1月14日 フラワーアレンジメント「壁飾り」実施 参加者数: 午前の部7名 午後の部10名 計17名 内容: 「壁飾り」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <p>令和2年 3月17日 フラワーアレンジメント「春」実施 参加者数: 午前の部8名 午後の部9名 計17名 内容: 「春」がテーマのフラワーアレンジメント製作。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域の歴史・文化を学ぶ講話とものづくりワークショップ</u> 講話講師: 亘理町郷土資料館 武田恵美氏 ものづくりワークショップ講師: ハンドメイドクリエイター 高谷真寿美氏
------	---

令和元年 6月4日・6日 ものづくりワークショップ「繭細工」実施
参加者:4日 8名 6日 11名 計19名

令和元年 8月26日 講話「手しごとについて」その1『織る』実施
参加者:13名

令和元年8月27日・28日・29日・30日
ものづくりワークショップ「手織りの小物」実施
参加者:27日8名 28日8名 29日10名 30日9名 計35名

令和元年10月7日 講話「手しごとについて」その2『縫う』実施
参加者:10名

令和元年10月8日・9日・10日 ものづくりワークショップ「手縫いの小物」実施
参加者:8日10名 9日8名 10日 10名 計28名

・事業報告書 地域に人の環を創る『復興支援型コミュニティサロン事業』の作成、送付

巨理町郷土資料館の武田様をはじめ、地元高齢者や地域文化を学ぶ体験講座参加者等から、地域の歴史や文化についての話を聞きとり、編集・印刷を行った。

※毎回、ポスターやクリアファイル等を掲示しながら、JKA補助事業の一環として開催している旨を口頭で伝えている。

※地元コミュニティ誌や新聞等の掲載により、広域的に周知している。

※JKAより提供いただいた広報物品を配付したところ、参加者に毎回大好評であった。

さらなる交付元の告知と周知につながった。

※ワークショップ・イベントの詳細は、当団体HPに開催レポートとして随時更新した。

URL:<http://watalis.jimdo.com/jka補助事業/>を参照。

予算

総事業費	2,881,427 円
2019年度助成金	2,876,627 円
自己資金	4,800 円

人員体制

- ・代表理事 引地 恵 助成事業全体の取りまとめ
- ・理事 菊地 喜久江 ワークショップ企画・運営に関する事
- ・理事 高橋 由紀 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関する事
- ・パート 2名<ワークショップ準備、補助、チラシ発送準備等事務処理(1名) / ワークショップ補助、準備、後片付け、来客対応(1名)>

一般社団法人WATALIS 平成31年(2019年)度事業報告書

事業名	平成31年度「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」	実施期間	令和元年(2019年)5月～8月
-----	-----------------------------	------	------------------

事業目標	東日本大震災の被害を受けた地域の中で、被災地域住民が互いに支えあう力を生み出し、主体的に自立と復興を目指す意識を高める事 ①住民間の“心の触れ合い”を取り戻す。 ②世代間交流と地域文化伝承の機会創出。③災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援。
------	---

事業内容	<p>住民間の“心の触れ合い”を取り戻し、世代間交流と地域文化伝承の機会の創出、災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援を目的として、災害時の備えに関する情報交換のための茶話会と防災グッズを手作りするワークショップを開催し、集いと仲間づくりの場を提供した。</p> <p>防災グッズ作り 【貴重品入れ～がま口型ポーチ 作り】 令和元年6月26日(水)午前 参加人数:9名 午後 参加人数:10名</p> <p>【貴重品入れ～眼鏡ケース～】 令和元年7月24日(水)午前 参加人数:8名 午後 参加人数:9名</p> <p>東日本大震災から8年経過し、その後も大きな被害をもたらす自信や自然災害が日本各地で発生し、自然災害の増加を実感している人が増えている一方、被災地であっても防災意識の薄れを感じている人もいます。 そんな中、昨年度に引き続き、宮城県共同募金会の支援を受け、防災グッズ作りのワークショップを開催した。</p> <p>ワークショップを通して改めて防災についての備えの大切さを実感した。 同じ地域に暮らす住民同士に、新たな交流が生まれ人間関係がさらに豊かになった様子が伺えた。地元高齢者からは、「一人での時間が多く、このように集まる場があることがうれしい」「今後もぜひこうした事業を続けてほしい」などの声が多く聞かれた。世代間交流の場としての茶話会・ワークショップ参加により、地域住民間のネットワークを構築・強化することができた。 今後の課題としては、事業運営を支える助成金交付元が宮城県共同募金会であることを継続して告知していくことで、地域住民へ本事業の趣旨を広く周知することである。</p>
------	--

予算	
総事業費	92,150 円
平成31年度助成金	80,000 円
自己資金	12,150 円

人員体制		
・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること
・理事	高橋 由紀	広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること

一般社団法人WATALIS 平成31年(2019年)度事業報告書

事業名	2019年度 公益信託 仙台銀行まちづくり基金	実施期間	令和2年(2020年)2月
-----	-------------------------	------	---------------

事業目標	東北の寒い冬を少しでも快適に過ごすために、亘理の女性達は「編み物」を通して家族の衣生活を支えてきた。今回は「編み物」に着目し、昭和の中頃まで地域内で受け継がれてきた「編む」という手仕事を伝承する機会とした。
------	---

事業内容	<p>①事業・活動の内容 地域の歴史・文化(手しごと等)について学び、ものづくりのワークショップを行った。知識や技術を習得することに加え、学びの場で生まれる新しい交流を、高齢者や地元女性たちの生きがい創りにつなげた。事業内容、成果をまとめたレポートを作成し、HPに掲載。 (https://watalis.jimdo.com/仙台銀行まちづくり基金/) 地域の歴史・文化(手しごと等)など高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、仙台銀行まちづくり基金により支援いただいている旨も広く周知した。</p> <p>『地域の歴史・文化を学ぶ伝承ワークショップ事業』 東北の寒い冬を少しでも快適に過ごすために、亘理の女性達は「編み物」を通して家族の衣生活を支えてきた。今回は「編み物」に着目し、昭和の中頃まで地域内で受け継がれてきた「編む」という手仕事を伝承する機会とした。</p> <p>【編む ～モチーフ2種(四角形・お花)～】 第1回:2月19日(水)10:00～12:00 参加人数:8名 第2回:2月19日(水)13:00～15:00 参加人数:6名 第3回:2月26日(水)10:00～12:00 参加人数:7名 第4回:2月26日(水)13:00～15:00 参加人数:7名 チラシやSNS等を活用し、広範囲に広報活動を行った。</p> <p>②事業・活動の成果 「編む」という手しごとなどの地域の歴史・文化を学ぶことで、私たちが暮らす郷土の身の回りの生活を改めて見つめ直すきっかけとなる活動となった。ものづくりのワークショップを開催することで、同じ地域に暮らす住民同士に、世代を超えた新しい交流の場が生まれ、地域住民間のネットワークがさらに深まった様子が伺えた。 高齢者からは、「町内に顔見知りができ、挨拶を交わす機会が増えた」「今後もこうした事業を継続してほしい」などの声が多く聞かれた。今回定員より参加人数は少なかったが、開催していく中で、技術指導をきめ細やかにやっていく必要があることを把握できたので、少人数が適していると感じた。 高齢者や地元女性の記憶や経験を基に地域の歴史や文化を掘り起こし、若い世代に継承する機会を提供し、世代間交流を促すことができた。また、高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、事業内容と成果を広く周知することができた。</p>
------	--

予算	
総事業費	100,627 円
2019年度助成金	100,000 円
自己資金	627 円

人員体制		
・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること
・理事	高橋 由紀	広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること

一般社団法人WATALIS 平成31年(2019年)度事業報告書

事業名	平成30年度 公益信託 オオバまちづくり基金	実施期間	平成31年(2019年)4月～ 令和元年(2019年)12月
-----	------------------------	------	-----------------------------------

事業目標	<p>①地域コミュニティの再構築 ②地域の歴史・文化伝承の機会創出 ③高齢者の孤立化防止と生きがい創り</p>
------	---

事業内容	<p>①事業・活動の内容 被災地の昔の暮らしに視点をあて、地域の歴史・文化(農業や養蚕、昔の暮らしや遊び、料理や手仕事等)について学び、ものづくりのワークショップを行った。知識や技術を習得することに加え、学びの場で生まれる新しい交流を、高齢者や地元女性たちの生きがい創りにつなげた。事業内容、成果をまとめた事業報告書を作成・配付したほか、当法人のHPにレポートを作成し、掲載。(https://watalisjimdo.com/オオバまちづくり基金/) 地域の歴史・文化など高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、公益信託オオバまちづくり基金により支援いただいた旨も広く周知した。</p> <p>『昔の暮らし再発見・後世に伝えよう 被災地の昔の暮らし想いをつなぐ地域の歴史・文化伝承事業』 【昔の暮らしを語る会】 ①生業について～農業・養蚕など～ 平成31年4月25日(木)10:00～12:00 参加人数:10名 ②行事について～暮らし・遊びなど～ 令和元年5月16日(木)10:00～12:00 参加人数:12名 ③家事について～料理・手仕事など～ 令和元年5月30日(木)10:00～12:00 参加人数:13名 【地域の歴史・文化伝承ワークショップ】 ①防潮林の手入れ～植樹・草取り～ 令和元年8月22日(木)13:00～15:00 参加人数:7名 令和元年8月23日(金)13:00～15:00 参加人数:7名 ②手織りの小物づくり～コースター・ランチョンマット～ 令和元年9月2日(月)13:00～15:00 参加人数:9名 令和元年9月3日(火)13:00～15:00 参加人数:10名 ③手縫い小物づくり～巾着～ 令和元年10月11日(金)13:00～15:00 参加人数:10名 令和元年10月15日(火)13:00～15:00 参加人数:10名 ※活動内容の詳細は、別紙事業報告書「平成30年度公益信託オオバまちづくり基金 助成事業 昔の暮らし再発見・後世に伝えよう 被災地の昔の暮らし～想いをつなぐ地域の歴史・文化伝承事業～」をご参照ください。</p> <p>②事業・活動の成果 地域の歴史・文化を学ぶことで、私たちが暮らす郷土の身の回りの生活を見つめ直すきっかけとなる活動となった。高齢者等の貴重な話を聞きながら、ワークショップで取り上げるべき内容について意見交換を行い、テーマを絞り込み、昔の子どもたちの遊び場であった海岸林の植樹や、織り機を使用し生活小物を作る体験、かつて養蚕が盛んであった巨理町ならではのシルク生地を使用した巾着づくりなどのワークショップを開催することで、同じ地域に暮らす住民同士に、世代を超えた新たな交流が生まれ人間関係がさらに豊かになった様子が伺えた。高齢者からは、「町内に顔見知りができ、挨拶を交わす機会が増えた」「集いの場あることはありがたい。今後もこうした事業を継続してほしい」などの声が多く聞かれた。 高齢者や地元女性の記憶や経験を基に地域の歴史文化を掘り起こし、若い世代に継承する機会を提供し、世代間交流を促し、新たなコミュニティの場創りとなった。また、高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、事業内容と成果をまとめた事業報告書を作成、配布することで、参加者のみならず広く周知することができた。</p>
------	---

予算	
総事業費	5,005,864 円
平成30年度助成金	500,000 円
自己資金	5,864 円

人員体制		
・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること
・理事	高橋 由紀	広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること